

関係各 schools 校長 様

京都府立洛北高等学校
校 長 川 口 浩 文

令和6年度 京都府立洛北高等学校課題研究発表会
並びに探究指導者のためのワークショップの開催について（案内）

寒冷の候、貴職におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育に格別の御配慮をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、本校では、令和4年度に文部科学省より第5期スーパーサイエンスハイスクール研究開発指定校の指定を受け、「探究し続ける科学技術フロンランナーを育成する中高一貫教育プログラムのデザインと一般化」を研究課題に掲げて、3年目の取組を推進しております。

つきましては、サイエンス科2年生の「課題探究Ⅱ」、並びに普通科・サイエンス科1・2年生が大学研究室の研修をもとに行った課題研究「SHOOT Lab」、および京都府立中高一貫教育校の課題研究発表会を下記のとおり開催いたします。また、課題研究の指導やカリキュラムマネジメントなどについて協議する「情報交換会」並びに「探究指導者のためのワークショップ」についても開催いたします。

年度末のお忙しいところとは存じますが、御参加いただき、本校の取組について御意見と御指導をいただきますよう御案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和7年3月11日（火）【ワークショップ】10時00分～12時00分
【課題研究発表会】12時30分～16時30分

- 2 会 場 京都府立洛北高等学校 理科講義室、理科実験室、視聴覚教室 他
〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 59 電話：075-781-0020
ホームページ <https://www.kyoto-be.ne.jp/rakuhoku-hs/mt/>
公共交通機関を御利用の上、御来校ください。

- 3 日 程 【探究指導者のためのワークショップ】
10:00 ワークショップ参加者受付
10:10 本校 SSH の取組説明
10:30 探究指導者のためのワークショップ
学校で探究活動を行う中で出てくる悩みや課題について、指導経験によらず皆で解決案を自由に考える、ゲーム形式のワークショップ体験を行います。
12:00 終了

【課題研究発表会】
12:30 発表会参加者受付
13:00 開会式
13:25 生徒発表
約30テーマのポスターセッション
15:50 閉会式、情報交換会（参加教員）
閉会式と並行して、課題研究の指導、洛北 Step Up Matrix を使ったカリキュラムマネジメントや取組の評価などについて、教員間の交流を図る「情報交換会」を行います。
16:30 情報交換会終了

4 参加申込方法

下記二次元コードまたは URL から、令和7年2月18日（火）までにお申し込みください。
参加申込をされた方には、後日詳細の御案内を E-mail で差し上げます。
同一校で複数名参加の場合も各個人ごとの申込をお願いします。

URL <https://forms.office.com/r/5ZvYV60p88>

申し込み済みの確認は、Microsoft Forms の
参加申込受付画面で御確認ください



お問合せは、総務企画部 担当教諭 大坂 勇市 までお願いします。
E-mail : y-osaka@kyoto-be.ne.jp

予定演題一覧（本校生徒によるポスター発表）

<課題探究Ⅱ>

分野	タイトル
化学	シャボン膜を用いて親水性の大小を明らかにする
化学	グリアジンとグルテニンの構造比の変化
化学	プラントベースアイスの開発と評価
化学	にんじんフィルムの撥水性の持たせ方
化学	Let's go 炎色反応! 燃烧でスペクトルを検証!
化学	エマルジョン燃料の冷凍保存～冷凍前後の乳化割合の変化～
化学	黄色のゴム状硫黄の生成方法とその要因
環境	カイロを用いた生活排水の浄化
環境	性格診断におけるバーナム効果
環境	コーヒーで消臭 ～家庭で実践できる消臭剤作り～
環境	帰宅困難者に対する調査
数学	領域を包含する最適な領域 ～ 良いハンコの枠を求めて～
数学	プラナリア数 ～複数のn乗数に区切られるn乗数～
生物	準絶滅危惧種のウキゴケを救え! ～培養方法の模索～
生物	ダンゴムシの好む香気の比較実験 ～彼らはビール愛好家～
生物	大腸菌の自己成長阻害物質の量の変化
生物	ミドリムシの光合成の力が最大限発揮される条件を探る
物理地学	地震に強い地盤の研究
物理地学	霞堤の各条件下での治水効果の変化
物理地学	frisbeeの軌道計算
物理地学	圧電素子を用いた効率的な発電方法
物理地学	遮音材の枚数とその効果の関係
物理地学	翼形と揚力の関係

<SHOOT Lab>

分野	タイトル
化学	溶媒の極性による有機顔料の吸光度ピークの相関性
化学	スライムの膨潤実験とその後の特性
生物	環境によるリゾチーム含有量の違い
生物	竹とカラマツの性質の比較
化学	建物の階数ごとの固有周期を調べて建物の揺れ方について